東京電力ホールディングス株式会社

（公財）地震予知総合研究振興会
長岡平野西縁断層帯の活動性評価に関する研究委員会（第３３回）

概要報告

１．日　時　　２０２６年１０月２６日（月）　１３：３０～１６：３０

２．出席者

| | | | |
|---|---|---|---|
| 主査 | 東北大学 | 名誉教授 | 長谷川　昭 |
| 委員 | 東京大学 | 名誉教授 | 岩崎　貴哉 |
| | 防災科学技術研究所 | フェロー | 小原　一成 |
| | 地震予知総合研究振興会 | 会長 | 金沢　敏彦 |
| | 東京大学 | 教授 | 酒井　慎一 |
| | 名古屋大学 | 教授 | 鷺谷　威 |
| | 東北大学 | 准教授 | 中原　恒 |
| | 東京大学 | 名誉教授 | 平田　直 |
| | 産業技術総合研究所 | 上級主任研究員 | 丸山　正 |
| 事務局 | （公財）地震予知総合研究振興会 | | |

（敬称略）

３．議題

（１）2026 年前半の活動報告等
　①　長岡平野の地震活動状況等について
　②　長岡平野西縁断層帯周辺における GNSS 観測
（２）長岡地域における地震波トモグラフィによる速度構造
（３）長岡平野西縁断層帯周辺での応力降下量の時空間分布

４．委員会の状況

2026年前半の活動報告として地震活動状況，GNSS観測結果等について説明があったのち，「長岡地域における地震波トモグラフィによる速度構造」に関する研究，「長岡平野西縁断層帯周辺での応力降下量の時空間分布」に関する研究について話題提供があった。

（１） 2026年前半の活動報告等

2026年前半の活動報告が行われた。

① 本検討で整備された稠密地震観測網（AN-net）の保全状況及び地震活動状況の説明が行われ，委員会では，長岡平野周辺の震源分布や地震発生数，中越沖地震前後の震源特性の比較等について意見交換が行われた。

② 長岡平野西縁断層帯周辺におけるGNSS観測結果等について，長岡平野周辺の地殻変動状況，ひずみ速度分布の推移，令和6年能登半島地震に伴う地殻変動，中部地方におけるひずみ速度場の評価に関する研究について説明が行われ，委員会では，GNSS観測点の状況，余効変動の観測値と計算値の考察について意見交換が行われた。

（２） 長岡地域における地震波トモグラフィによる速度構造

長岡地域を対象として，観測点補正値を考慮して再決定したAn-netの震源を用いてトモグラフィ解析を実施し，震源分布や速度構造を分析した結果が紹介された。委員会では，解析におけるグリッド間隔の妥当性，本結果を踏まえた今後の分析方針について活発な議論された。

（３） 長岡平野西縁断層帯周辺での応力降下量の時空間分布

Frequency Index（FI）を用いた応力降下量推定手法を長岡平野西縁断層帯周辺に適用し，時間的・空間的な応力降下量分布を分析した結果が紹介された。委員会では，流体の寄与について定量的な評価方法やFIによる応力降下量推定の手法の詳細について活発な議論がされた。

以　上